

## 市議会だより



5 月 21 日に伊東マンショ肖像画の所有者（トリブルツイオ財団）を招いての講演会・演奏会が開催され、市内の中学生が GILLE 作詞・作曲の「きっと」を合唱しました。この伊東マンショの肖像画が、宮崎県立美術館にて 9 月 9 日（金）より公開されます。

### ● 3月臨時会の概要 ●

平成 28 年第 2 回臨時会は 3 月 22 日に招集。市長提出議案 1 件について審査を行い、原案可決としました。

### ● 4月臨時会の概要 ●

平成 28 年第 3 回臨時会は 4 月 1 日に招集。市長提出議案 1 件について審査を行い、原案可決としました。

### ● 5月臨時会の概要 ●

平成 28 年第 4 回臨時会は 5 月 10 日に招集。市長提出議案 5 件、報告案件 1 件について審査を行い、その結果、いずれも原案可決（専決処分承認を求めることについては承認）としました。

### ● 6月定例会の概要 ●

平成 28 年第 5 回定例会は 6 月 7 日に招集。6 月 24 日までの会期で、市長提出議案 8 件、報告案件 2 件、陳情 1 件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案はいずれも原案可決（監査委員の選任及び教育委員会委員の任命については同意）としました。また、陳情 1 件については継続審査としました。

### 主な掲載内容

- ◎ 永年勤続表彰・・・P 2
- ◎ 議会構成・・・P 3
- ◎ 一般質問・・・P 4～6
- ◎ 議案審議結果・・・P 7
- ◎ 委員会審査報告・・・P 7～10
- ◎ 陳情の審査結果・・・P 10

## 全国市議会議長会永年表彰

このほど、黒木正善議員が30年、北岡四郎議員、兼松道男議員、中武邦美議員、黒木吉彦議員、荒川敏満議員が10年の議員永年勤続の功勞により、全国市議会議長会から表彰されました。



黒木正善 議員

昭和25年生 昭和61年初当選 現在8期目。この間、議長、総務常任委員長、議会運営委員長、情報公開対策調査特別委員長、市町村合併対策調査特別委員長、救急医療対策調査特別委員長等を歴任。



北岡四郎 議員

昭和24年生 平成18年初当選 現在3期目。この間、文教厚生常任委員長、議会運営委員長等を歴任。



兼松道男 議員

昭和24年生 平成18年初当選 現在3期目。この間、産業建設常任委員長、文教厚生常任副委員長等を歴任。



中武邦美 議員

昭和25年生 平成18年初当選 現在3期目。この間、議会運営副委員長、監査委員、産業建設常任委員長等を歴任。



黒木吉彦 議員

昭和33年生 平成18年初当選 現在3期目。この間、副議長、文教厚生常任委員長、口蹄疫対策調査特別委員長、議会改革対策調査特別委員長等を歴任。



荒川敏満 議員

昭和33年生 平成18年初当選 現在3期目。この間、副議長、産業建設常任副委員長、総務常任副委員長、議会運営副委員長、新田原基地対策調査特別委員長等を歴任。

6月定例会が6月7日に開会し、新しい議会構成が決まりましたので  
ご紹介します。  
(◎委員長 ○副委員長 ○副委員長 敬称略)

議長 井上 司



副議長 中武 邦美



常任委員会

▼総務常任委員会

◎◎ 黒木 正善  
○ 荒川 昭英  
◎ 曾我部 貴博  
◎ 井上 司  
◎ 楠瀬 寿彦  
◎ 太田 寛文

▼文教厚生常任委員会

◎◎ 田爪 淑子  
◎ 狩野 保夫  
◎ 岩切 一夫  
○ 荒川 敏満  
○ 中武 邦美  
○ 北岡 四郎

▼産業建設常任委員会

◎◎ 兼松 道男  
◎ 河野 方州  
○ 恒吉 憲  
○ 中野 政憲  
○ 井上 勝彦  
○ 黒木 吉久彦

特別委員会

▼新田原基地対策調査  
特別委員会

◎◎ 岩切 一夫  
○ 河野 方州  
○ 楠瀬 寿彦  
○ 恒吉 政憲  
○ 兼松 道男  
○ 井上 久昭

▼救急医療対策調査  
特別委員会

◎◎ 黒木 正善  
○ 狩野 保夫  
○ 荒川 昭英  
○ 太田 寛文  
○ 田爪 淑子  
○ 荒川 敏満

議会運営委員会

◎◎ 黒木 吉彦  
○ 荒川 敏満  
○ 太田 寛文  
○ 兼松 道男  
○ 河野 方州

監査委員

井上 久昭  
(議会選出)

西都児湯環境整備  
事務組合議会議員

田爪 淑子

次のページから

一般質問

6月15日、16日、6名の議員  
が登壇し、市長の政治姿勢を  
はじめ、防災、危機管理、食の拠  
点、地域医療、農業行政など、  
市政全般にわたって質問を行  
いました。

庁舎建替え・住宅耐震助成・土砂災害・校舎解体・健康づくり



如水会  
恒吉 政憲

問① 築52年で日ごと老朽化が進む本庁舎の建替え計画と、新庁舎完成までの備えとして、優先的に機能を移転する計画はないのか伺いたい。

答 昨年度、耐震補強工事と建替えについて比較検討した結果、建替えとの結論に至った。これからの計画としては、市民の意見をより多く取り入れるため、今年度は市民団体等での構成を予定している。市民懇話会の開催等により、市民意見の集約を図り、平成35年度の新庁舎完成をめざす。また、新庁舎完成までの機能移転計画としては、熊本地震被害を見ると本市でも対応策が必要と考える。そこで、災害対策本部については隣接するコミュニティセンターを使用する計画だが、通常の行政機能を移転させることについては、特に窓口業務について今後早急に検討していきたい。

問② 木造住宅耐震助成制度につ

いて伺いたい。

答 この制度は、大地震による建築物の倒壊等を未然に防止し、市民の生命・財産を保護するために昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断及び耐震改修工事を行う者に対し、費用の一部を補助する事業である。今後とも市民の皆様方に対する周知を「お知らせ」等で図っていききたい。

問③ 土砂災害防止対策における市民への周知等について伺いたい。

答 今回、名称をこれまでの「洪水ハザードマップ」から「防災マップ」と変更し、今年7月下旬の配布を予定している。

問④ 三納中学校校舎の解体と跡地活用及びそれまでの安全管理について伺いたい。

答 校舎の解体については、財政的な面も考慮しつつ計画的に進めてまいりたい。またそれまでの安全管理については、校舎の出入り口や窓を常に施錠し、壁等の落下の危険性もあるため、校舎の周囲にロープ等を張り、立ち入り禁止とし、児童生徒などの関係者に話して注意喚起を図ってまいりたい。

問⑤ 防災無線で健康づくりについて伺いたい。

答 特定健診などの周知・啓発で防災無線を有効活用したい。

農業振興、商工観光行政、防災行政について



新緑会  
岩切 一夫

問① 産地パワーアップ事業には色々な条件があるようだが、より使い易くするために国等へ要望をお願いしたいが市長の見解を伺いたい。

答 6月8日に県選出の国会議員に事業の見直しについて要望してきたところである。また、農業者が長期的な計画を立てながら事業に取り組めるように、長期的な事業と予算の確保を国等へ要望していきたい。

問② 平成27年度台湾からの教育旅行をうけて西都市に与える経済効果はどれ位あるか伺いたい。

答 昨年度の結果から、直接的な経済効果については宿泊料、体験料、お土産の購入を合わせて900万円の経済効果がある。しかし農家民宿が提供する様々なサービスの原材料の仕入れが広く西都市全域に及ぶことから、この数字以上の経済効果が得られている。

問③ 西都児湯医療センターの施

設整備構想には、どのような内容が盛り込まれるのか伺いたい。

答 現時点の計画は、現状分析や施設整備の必要性と方向性である。特に、施設整備が必要な場合は、移転新築か、現地建替えか、全面改修なのかについて結論を出していきたい。この施設整備構想をまとめるに当たっては、幅広い分野の意見を反映させていきたい。

問④ 市の重要データ（電子データ）のバックアップはどうなっているのか伺いたい。

答 市の重要データ、いわゆる住民情報や税・福祉情報などに係る電子データの安全対策としては現在、毎日深夜に磁気テープへ全てのバックアップデータを格納し、その磁気テープを会計室の金庫に保管している。



グリーン・ツーリズムで宿泊受け入れをしていただいている会員の皆さん

防災危機管理対策と口蹄疫再発防止対策について



新緑会  
黒木 吉彦

問① 住民の防災意識向上の取り組みと自主防災意識の育成について、伺いたい。

答 まず「自分の命は自分で守る意識」を持つことが重要であり、身近に潜む危険を知り、豪雨・地震等に伴い増す危険をかわす必要がある。このことを地域で共有し自助から共助、そして自主防災組織を構築することが大切である。自主防災組織の設立及び防災訓練時には、補助金を交付し、防災士資格取得の費用助成を行っていく。今年度は、安全安心な地域づくり説明会を開催する。

問② 災害弱者の避難方法などを決める「個別計画」について伺いたい。

答 本市においては、自ら避難する事が困難な者で、特に支援を要する「避難行動要支援者」の名簿が作成してある。個別の計画では、福祉事務所等で構成する民生対策部と民生委員及び消防団が連携し

避難所や福祉避難所に避難させるようになっていく。

問③ 口蹄疫を出さない再発防止対策は、どのような取り組みをしているか伺いたい。

答 防疫体制強化を図るための必要な機械等について補助事業を実施している。毎月20日の「県内一斉消毒の日」に行っている広報等で、防疫意識の啓発を図るとともに防疫の徹底をお願いしている。今年度は、畜産農家全体を集めた防疫研修会を計画している。

問④ 石灰消毒をしている畜産農家に石灰の無料、もしくは一部助成配布は出来ないか伺いたい。

答 石灰消毒は、消毒効果に加え視覚的進入防止も期待できることから、今後畜産農家に調査を行い石灰の配布について検討する。

問⑤ 伊東マンショ顕彰事業の繋がりで、東京五輪・パラリンピックのホストタウンに西都市が登録されたが内容を伺いたい。

答 2020年の東京五輪・パラリンピック大会に向けて、参加する選手や関係者と交流を図り、地域の活性化に繋げる国の事業であり、経費については特別交付税措置による助成が予定されている。今後イタリアとの新たな交流について研究したいと思っている。

特定健診、福祉教育、防災・減災対策について



公明党  
曾我部 貴博

問① ピロリ菌検査の特定健診導入について

答 3月議会では「早期の実施に向け取り組んでいく」との答弁であったが、その後の調査結果と実施の目的を伺いたい。

問② 福祉教育について

答 実施方法や被保険者の一部負担金の在り方、実施機関の選定等、様々な課題を関係機関と十分に協議し、先行自治体から情報を受け、来年度導入に向け調査研究を進めてまいりたい。

答 2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。身体に障害があっても、世界の選手と堂々と戦うパラリンピック選手の精神力や姿・言葉は、子供達へ良い刺激になると思う。スポーツをはじめ、あらゆる分野で活躍している障がい者や、その指導者を招いて、講演や疑似体験の機会を設けてはどうか伺いたい。

答 実際に見たり聞いたり、体験

するなど本物に触れる活動が極めて有効と考える。広く情報収集をしながら研究したい。

問③ 防災・減災について

答 各学校で実施する危機管理に関する職員研修に避難所運営ゲームを取り入れるなど、活用例を紹介し、各学校の防災教育や危機管理体制の充実につなげたい。

問④ 福岡市ではスマートフォン「福岡防災アプリ」を作成し、市民の外出時や観光客も、災害時に速やかに避難できる取り組みをしているが、本市でも導入してはどうか、見解を伺いたい。

答 福岡防災アプリの内容を調査し、本市においてどの様に有効か検討していく。

防災×スタートアップ  
電波不通時でも使える 5/17から  
防災マップ 配信開始

YAMAP  
▶ダウンロード 無料  
▶ワンタッチで起動

「防災マップを搭載した  
地図アプリ」  
福岡市ホームページより

安全安心な地域づくり、子ども支援、市の活性化対策について



新緑会  
北岡 四郎

問① 民生委員の活動しやすい環境づくりについて伺いたい。

答 本市の人口構造に沿った民生委員の担当区割りとなるよう民生委員児童委員協議会及び社会福祉協議会と協議したい。

問② 区長制度が出来て40年以上経ち現状に合っていないのではないか見直しについて伺いたい。

答 今後具体的に区長連絡協議会と協議してまいりたい。

問③ 職員の地域サポーターの配置及び支援内容について伺いたい。

答 配置人数は、妻北81名、妻南78名、穂北46名、三納40名、都於郡40名、三財42名、東米良30名の合計357名である。支援内容は、イベントの参加、駐車場等の準備、整理、後片付けなど行いたい。

問④ 今議会の中で「今後予定している施策を見直す」と述べられたが何を見直し、どのように取り組んでいられるのか伺いたい。

答 安全安心な地域づくり説明会を優先するため、食の拠点説明会は、先送りする。また、食の拠点建設は凍結したい。

問⑤ 子ども支援対策の中に児童手当があるが、その一部の運用を医療や保育料、給食費に充てるなど地方自治体に任せることを国に要望する考えはないか伺いたい。

答 児童手当の恩恵をありがたく感じている保護者は多く、地方自治体で行うことには、受給者の理解を得ることが困難だと思われる。子育て支援に関する事業の提言や要望は、全国市長会を通じて行っ

てまいりたい。

問⑥ 妻湯温泉を利用した県営プールの誘致は出来ないか伺いたい。

答 民間施設でもあるので企業の意見も聞きながら要望できるか研究してまいりたい。



被災した熊本県の市街地の様子

地震災害対策と妻湯プロジェクト計画への支援を



日本共産党  
狩野 保夫

問① 熊本地震災害に対する見解と対策について伺いたい。

答 熊本地震による災害は天災と言わざるを得ない。これを機に西都市の現体制で何ができるか、何をすべきかを早急に検討しなければと考えさせられた。地震発生による課題検証と解決すべき優先順位に基づいた地域防災計画の見直し、自主防災組織の育成と活動の支援強化に取り組みたい。

問② 4月1日から新たなスタートをした地方独立行政法人医療センターの設立者は西都市である。公的医療機関を運営することになった市長の決意を伺いたい。

答 医療センターは市民の医療環境の整備になくてはならないものであり、安定的な運営が出来る公的医療機関でなければならぬと判断し地方独立行政法人を選択した。医師会や宮崎大学などの協力を得ながら、行政と医療センターが一体となって医療環境の維持・

発展に全力で努めたい。

問③ 「食の拠点」(道の駅)整備計画については、市内60会場で説明会を計画することであった。来年1月は市長選挙が行なわれる残り半年間で説明責任をどう果たされるのか見解を伺いたい。

答 住民説明会を開催することで準備を進めていたが、熊本地震の発生を受け、防災・危機管理に重点を置いた施策に転換を図ることが急務であると考え「安全・安心な地域づくり説明会」の開催を優先して行なうことにしたので説明会の開催日程は未定である。

問④ 西都・妻湯プロジェクトが、成功するならば、本市活性化への起爆剤となりうるものである。計画の内容と市としての支援策について見解を伺いたい。

答 構想では、総事業費は約10億円。古墳をイメージした温泉施設と100室の客室を備えた宿泊施設を本年度中に着工し、来年秋頃の創業開始を目指している。必要に応じた支援を行ないたい。

問⑤ 母子・寡婦医療費助成拡充対策について見解を伺いたい。

答 県内では、国民健康保険以外の被保険者を対象とする自治体や所得制限無し自治体もあるので、調査・研究して参りたい。

## 議案審議結果

第2回臨時会（3月22日）、第3回臨時会（4月1日）、第4回臨時会（5月10日）及び第5回定例会（6月7日）6月24日）で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

## 条例関係

### \*第5回定例会（6月）\*

●第66号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について（都於郡小学校職員住宅（1号）等を廃止するため、所要の整備を行うおうとするもの）

■第67号 西都市国民健康保険税条例の一部改正について（予算に見合う賦課を行うなど、所要の整備を行うおうとするもの）

## 予算関係

### \*第2回臨時会（3月）\*

●第57号 平成27年度西都市一般会計予算補正（第11号）について（国の平成27年度第1次補正予算による地方創生加速化交付金事業採択に

伴い、商工費など、総額3263万円を増額補正しようとするもの）

### \*第4回臨時会（5月）\*

●第63号 平成28年度西都市一般会計予算補正（第2号）について（熊本地震による被災地への支援として総務費に100万円、衛生費に50万3千円を増額補正しようとするもの）

### \*第5回定例会（6月）\*

●第68号 平成28年度西都市一般会計予算補正（第3号）について（総務費、農林水産業費など、総額7億8796万5千円を増額補正しようとするもの）

■第69号 平成28年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第1号）について（平成28年度国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額8494万5千円を増額補正しようとするもの）

●第71号 平成28年度西都市一般会計予算補正（第4号）について（西都児湯医療センター施設整備基本構想策定にあたり、懇話会に要する経費として、衛生費に72万2千円を増額補正しようとするもの）

## その他

### \*第3回臨時会（4月）\*

●第58号 地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画について（地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画を認可しようとするもの）

### \*第4回臨時会（5月）\*

■第59号 専決処分の承認を求めることについて（地方税法等の一部改正に伴う、西都市市税条例等の一部改正）

■第60号 専決処分の承認を求めることについて（地方税法等の一部改正に伴う、西都市国民健康保険税条例の一部改正）

■第61号 専決処分の承認を求めることについて（特別交付税等の決定等に伴う西都市一般会計予算補正）

●第62号 専決処分の承認を求めることについて（保険給付費の不足に伴う西都市国民健康保険事業特別会計予算補正）

### \*第5回定例会（6月）\*

●第64号 監査委員の選任について

阿萬 浩 氏（新任）

●第65号 教育委員会委員の任命について

杉尾 優子 氏（新任）

●第70号 監査委員の選任について

井上 久昭 議員（新任）

## 議案等の審査

### 総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案2件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第68号 平成28年度西都市一般会計予算補正（第3号）について（本委員会付託部分）であります。

第1表歳入につきまして、主なものは、県支出金のうち農業費補助金に、有限会社第一飼料が春日

地区に建設する家畜飼養管理施設の設置補助金として、強い農業づくり交付金事業補助金6億6642万5千円の予算が計上されており、歳入総額7億8796万5千円を増額補正しようとするものであります。

第1表歳出につきましては、総務費の災害対策費に、安全安心な地域づくり説明会や自主防災組織設立説明会の実施費用として69万円、自主防災組織啓発促進補助金やコミュニティ助成事業補助金などに575万円の増額予算が計上されています。また消防費に、清水地区の消防器具庫兼詰所設置予定場所の擁壁工事や用地整備のための事業費442万3千円などの増額予算が計上されています。本案につきましては、消防器具庫兼詰所設置予定場所の現地調査を行い、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査過程において、ある委員より、「今回、総務費の災害対

策費に、自主防災組織設立説明会の予算が計上されている。現在、西都市全体の自主防災組織の組織率は42・54%という事で、設立を促進することは良いことであるが、設立だけを目的とするのではなく、設立された後も、自主防災組織の役員を集めて研修会を開いたり、積極的に活動をしている組織の事例等を紹介するなど、実行力のある組織づくりを目指していただきたい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第71号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第4号)について(本委員会付託部分)であります。

第1表歳入につきましては、地方交付税72万2千円を増額補正しようとするものであります。

本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。以上で報告を終わります。



清水地区の消防器具庫整備  
予定地の現地調査

## 文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

まず、議案第66号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正についてであります。本案は、老朽化に伴い都於郡小学校職員住宅(1号)などを廃止するため、所要の整備を行おうとするものであります。

本案については、都於郡小中学校職員住宅の現地調査を行い、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、

全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第67号 西都市国民健康保険条例の一部改正についてであります。本案は、予算に見合う賦課を行うなど、所要の整備を行うとするものであります。

本案については、種々質疑の後、ある委員より、「本案では、医療分では、所得割税率を引き下げて、資産割税率を据え置き、均等割、平等割を千円引き上げ、後期支援分、介護分では、資産割税率を据え置き、所得割税率、均等割、平等割を引き下げる改正がなされている。これにより、医療分、後期支援分、介護分合計で、1人当たり税額は、前年度より15円減税の11万1715円、1世帯当たり税額は、前年度より225円増税の18万9272円である。負担軽減対策として、基金、繰越金を繰り入れ、予備費の減額見直し等によって、これまでにない努力がされていることは、評価するものである。しかし、市民が求める減税対策としては、まだまだ不十分であり、市民の命と健康、暮らしを守る立場

から賛成できない。一般会計から繰り入れを図り、負担軽減に努力している自治体もあるので、更なる努力を強く求めておきたい」との反対討論がなされましたが、採決の結果、多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第68号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第3号)について本委員会に付託をされた部分についてであります。

主なものでは、民生費に保育対策総合支援事業補助金、衛生費に西都児湯医療センター耐震診断業務委託料などの予算が計上されております。

本案については、種々質疑の後、ある委員より、「本案においては、西都児湯医療センター耐震診断に関わる業務委託料と役務費が提案されているが、公的医療機関になった医療センターの耐震診断を行ない、実際の耐震性を把握することは、行政として当然の責任であると考えられるので賛成したい。期間は、およそ6ヶ月程度の予定であるとのことですが、耐震診断の結果が出ないうち

に、新病院建設構想が出されることがないよう行政としての対応を強く要望しておきたい」との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第69号 平成28年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第1号)についてであります。

本案は、平成28年度国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額849万5千円の増額補正をしようとするものであります。

本案については、種々質疑の後、ある委員より、「議案第67号との関連で賛成できない」との反対討論がなされましたが、採決の結果、多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第71号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第4号)について本委員会に付託をされた部分についてであります。

本案は、西都児湯医療センター施設整備基本構想策定にあたり、懇話会に要する経費として、衛生費に72万2千円を増額補正しようとするも

のであります。

種々質疑の後、ある委員より、「本案においては、地域医療対策費に報償費、旅費が提案されている。これは、『(仮称)西都児湯医療センター施設整備基本構想懇話会』設置に伴う予算であり賛成したい。懇話会の設置目的は『医療センターの基本構想を策定するに当たり、幅広い分野の意見を反映させること』、また、懇話会の構成メンバーは、宮崎大学医学部を含む医療分野の関係団体、児湯郡関係、区長会をはじめとする市内各種団体の代表者を予定しているとのことであったが、団体や組織代表だけでなく、広く市民から聴くためにも、一般市民代表を公募するなど、より広い意見集約に努力をされることを強く要望しておきたい」との賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。



都於郡小中学校職員住宅の  
現地調査

## 産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託されました議案について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第68号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第3号)について、本委員会に付託された部分についてであります。

主なものでは、まず、農政課について、農林水産業費のうち、農業費に強い農業づくり交付金事業補助金として6億6642万5千円の前算などが計上されています。

次に、農地林政課について、農林水産業費のうち、農業費に多面的機

能支払交付金事業費として2468万6千円、林業費に有害鳥獣対策嘱託員報酬として180万円、森林整備加速化・林業再生事業補助金として1150万円の予算が計上されています。

次に、商工観光課について、商工費のうち、商工費に、観光協会補助金として47万7千円が計上されていますが、これは西都市観光協会台湾視察交流事業であります。宜蘭県羅東鎮から姉妹都市締結の提案があり、西都市では、市民レベルでの気運の醸成が図られることが重要であるとし、教育旅行・スポーツ以外の交流の可能性について、各業界関係者で構成される西都市観光協会において調査研究するものです。西都市観光協会副会長として副市長、西都市観光協会理事として議長、産業建設常任委員会委員長、西都商工会議所会頭、西都農業協同組合代表理事組合長と、西都市観光協会事務局長の計6名が参加することになっております。また、コミュニティ助成事業補助金として250万円の予算などが計上されています。

次に、建築住宅課について、土木費のうち、土木管理費に、木造住宅の耐震化を促進するため費用の一部を補助するもので申請者数の増加に対応するための木造住宅耐震改修事業補助金として510万円の予算などが計上されています。

本案については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、ある委員より、「議案第68号 平成28年度西都市一般会計予算補正(第3号)について 第1表 歳出 農林水産業費中農業費 畜産振興費 負担金補助及び交付金7億1072万千円の内、強い農業づくり交付金事業補助金6億6642万5千円について、この事業の概要は、有限会社第一飼料が養豚事業として、母豚を現在の二つの農場810頭から、新規農場に1200頭へと規模拡大するもので、その為の畜舎及び関連施設を整備する事業計画であり、全額宮崎県からの補助金で賄われるものである。有限会社第一飼料と春日地区

並びに千田地区とは公害防止協定が交わされているので安心だと思っているが、何か起きた場合は協定書に基づいて早急に対処して戴きたい」との意見・要望がなされました。以上で報告を終わります。

## 陳 査 結 果 情

「2020年東京オリンピック」サーフィン競技大会招致に関する決議を求める陳情

### 陳 情 者

東京オリンピックピックサーフィン  
競技大会招致実行委員会  
会長 三輪 純司

### 審 査 結 果

継続審査

### ◆編集後記◆

6月定例会では6名の議員が、一般質問者として、登壇しました。質問者全員が4月に発災した熊本地震を教訓に、それぞれ、地震に対する防災対策や危機管理体制について多くの質問を行いました。災害は、いっどこで起きるかわかりませんが、災害に対しての危機管理意識を、常に持つ事が大事な事だと思います。これからも議会は、西都市民の安心・安全な暮らしができるよう、議会活動を行っていきたいと思いますので、宜しくお願ひします。

### — 議会報編集委員会 —

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 黒木吉彦  |
| 副委員長 | 曾我部貴博 |
| 委員   | 楠瀬寿彦  |
| 〃    | 恒吉政憲  |
| 〃    | 荒川昭英  |
| 〃    | 田爪淑子  |
| 〃    | 荒川敏満  |
| 〃    | 中武邦美  |
| 〃    | 中野勝   |
| 〃    | 狩野保夫  |